

春漁情報第2報 (イサダ)

令和6年2月19日
宮城県水産技術総合センター環境資源チーム
TEL:0225-24-0139
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>



- ・令和6年2月17日に、金華山沖から気仙沼御崎沖にいたる調査ライン（水深121～158 m）を航行し、イサダ魚群を探索しました。
- ・イサダ魚群は、浮上群・底付き群共に認められませんでした。
- ・表面水温は13.2～15.8℃であり、黒潮波及の影響で昨年同期の調査と比べ4.1～6.5℃高くなっています（昨年7.9～10.8℃）。
- ・親潮の波及はまだ弱い状況です。しかし、気仙沼沖でやや水温が低くなり南向きの海流が確認されたほか、気仙沼湾御崎の水深100 m以深では、8℃台で塩分の低い水塊が確認されました。
- ・次回の調査は2月の最終週を予定しています。

【調査結果の概要図】

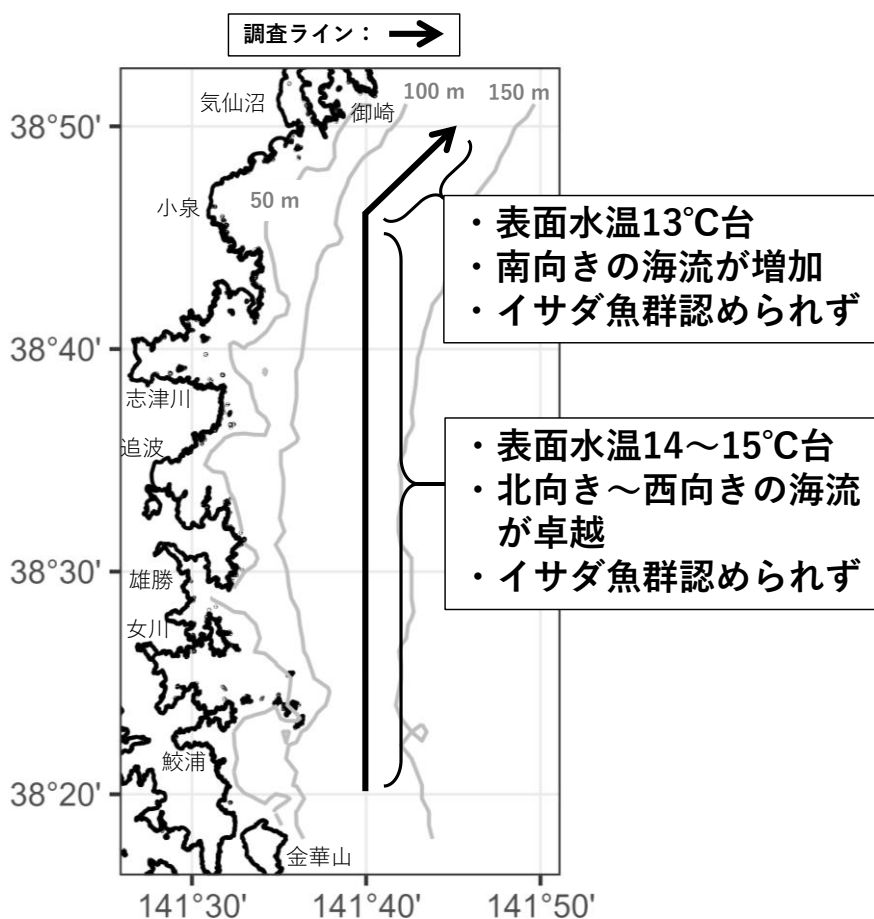
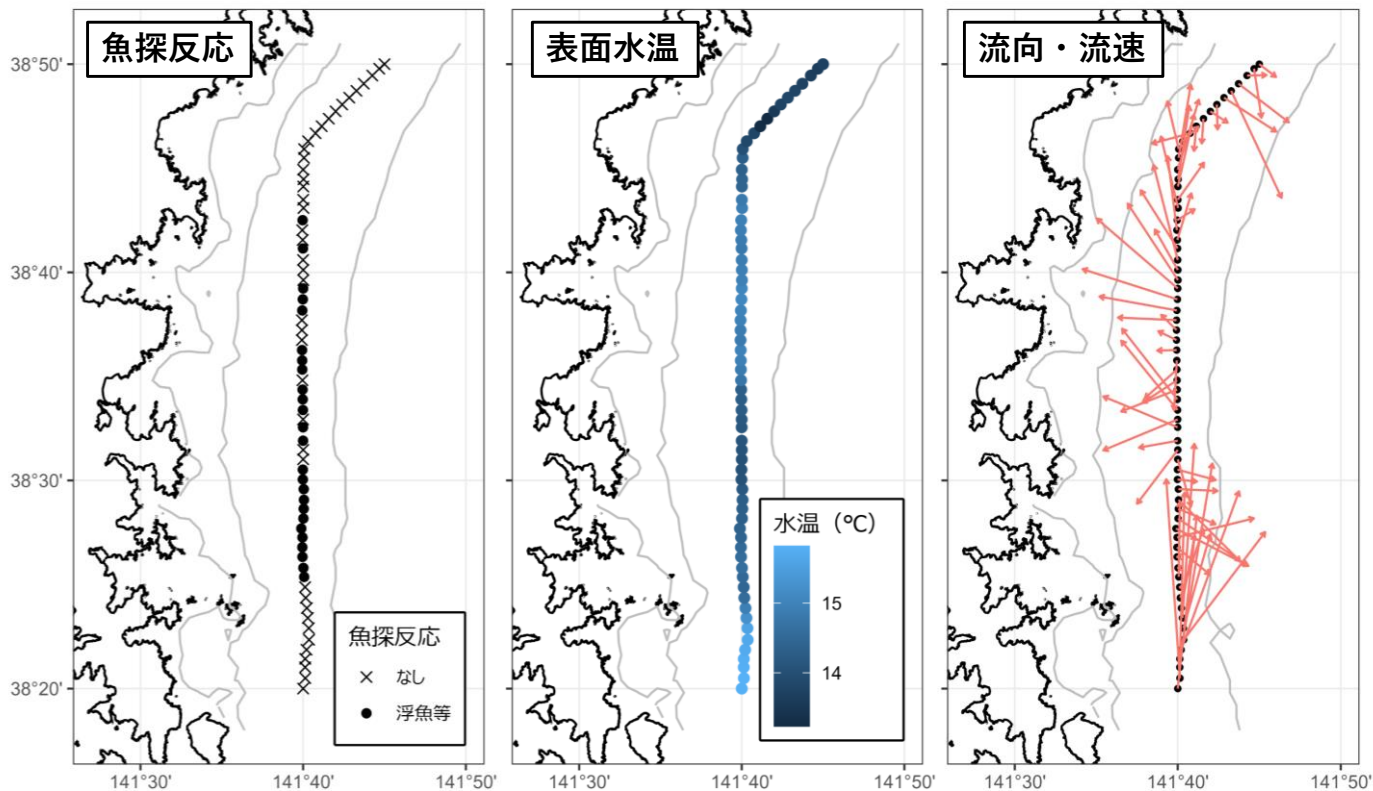


表 気仙沼湾御崎沖（38° 50' ， 141° 45' ）の海洋観測結果（水温及び塩分）

水深(m)	水温(℃)	塩分
5	14.0	34.5
10	13.8	34.5
20	12.6	34.4
30	12.5	34.4
40	12.4	34.3
50	12.0	34.3
60	10.8	34.1
70	10.7	34.1
80	10.2	34.1
90	9.7	34.0
100	9.3	34.0
110	8.6	33.8
120	8.6	33.8
130	8.6	33.8

●調査ライン上の魚探反応、表面水温、流向流速の分布



【魚探反応】 イサダの反応は認められませんでした。マイワシ等の浮魚と思われる反応が女川湾沖から志津川湾沖まで断続的に確認されました。

【表面水温】 金華山沖から女川湾沖まで 15°C台、女川湾沖から小泉湾沖まで 14～15°C台、小泉湾沖から気仙沼湾沖では 13°C台でした。

【流向流速】 金華山沖から女川湾沖にかけては北向きの流れが卓越していました。雄勝湾沖から小泉湾沖では西向きもしくは北向きの流れ、小泉湾沖から気仙沼湾沖では南向きや南東向きの流れが多く認められました。

●今後の海況についてこまめに確認をお願いします。

海況情報はこちらをチェック

気象庁
日別海面水温

海況予測システム
FRA-ROMSII
(水産研究・教育機構提供)

JAFIC会員サービス
(漁業者のみ、要会員登録)